

「最後の花火に今年もなったな・・・」

何年たっても思い出せますように

令和6年

9月18日(第14号)

学校長 村松章史



9.14 第63回陵風祭

テーマ「彩煌」のもとに

7月5日に「第1回がんばろう集会」が開かれ、テーマ「彩煌」の下に具体的な取組がスタートしました。約2ヶ月に渡る期間で積み上げた成果を、精一杯表現した陵風祭になりました。

前日(9/13)には、「第3回がんばろう集会」が行われ、生徒会本部から「彩煌の花を咲かせるためには生徒の笑顔や感動が必要」というメッセージが伝えられました。これに応えるように各学級や各系列の意気込みが発表されました。初の企画となった各系列による「応援合戦」では、他の系列や市川中全体にもエールが送られるなど、一丸で臨む雰囲気を作られました。



迎えた14日、文化の部の最初のプログラムは吹奏楽部の演奏。3年生の部員にとって最後のステージとなりました。会場の大きな手拍子や3年生によるダンスも加わり、陵風祭のスタートにふさわしい、また、ここまで吹奏楽部をリードしてきた3年生に感謝を伝える時間になりました。3年生お疲れさま。そして、ありがとう。

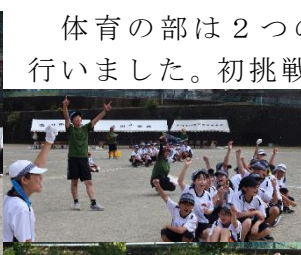


各学年の演劇には、それぞれ強いメッセージを込めました。1年生は『戦国SNS宣言』。戦国時代の武将たちがスマホによる情報戦を繰り広げる様子を演じ、そこから「よりよいSNSとの付き合い方」を考えさせる内容でした。そのメッセージ、全校に伝わったと思います。



2年生は『アキレアの花が焦がれる前に』（一瀬佳暖さん作の脚本）。花言葉に込められた意味、戦争と平和についての学びを演技に込めました。学年の力強さが表れたステージでした。ますますこれからが楽しみです。

3年生は『ボンド。』。日常生活の中にあるいじめをテーマに、「生きること」について深く考えさせられる内容でした。3年間の集大成にしたいという思いが伝わってきました。



体育の部は2つの学年対抗種目と3つの系列対抗種目を行いました。初挑戦の1年生は、きっと先輩のすごさを感じたと思いますし、2年生は来年の自分たちの姿を思い浮かべたことと思います。3年生は、様々な場面で指示を出したり盛り上げたりと、「自分たちがやらなければ」という思いが伝わってきました。市川中生徒の底力と、仲間とのつながりを大切にする雰囲気を感じる時間でした。

締めくくりは全校合唱。数年ぶりの体育館内での発表となりました。伝統の『大地讃頌』、そして『明日はきっといい日になる』。ステージバックを背にいい顔で歌っている様子は、追い求めてきた『彩煌』の花が咲いた瞬間でもありました。



陵風祭の取組は、ご家庭のご協力なしには成るものではありません。当日も含め様々な面で生徒そして学校を支えていただき、本当にありがとうございました。素晴らしい生徒たちです。